

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2006～2009
課題番号：18520577
研究課題名（和文） 日米関係史における日本人とアフリカ系アメリカ人
—第二次世界大戦後から現在まで
研究課題名（英文） Japanese and African Americans: Historical Aspects of Their Relations
from World War II to Present
研究代表者
古川 哲史 (FURUKAWA TETSUSHI)
大谷大学・文学部・准教授
研究者番号：90410977

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学、西洋史

キーワード：アメリカ、日本、日米関係、日本人、アフリカ系アメリカ人、世界史

1. 研究計画の概要

本研究は日米関係史のなかで、第二次世界大戦後から現在までの期間において、日本人とアフリカ系アメリカ人（アメリカ黒人）がどのような関係や交渉をもち相互影響を与えたかを実証的に明らかにし、さらには現状と課題を考察することを目的とする。日本史研究やアメリカ史研究、日米関係史、あるいは日米関係論研究でも、今まで本格的に扱われてこなかった重要なテーマである。まず既往の研究成果を調査、概観、分析する。その上で、戦前期や戦中期との事例比較も行いつつ、戦後から現在までの日本人とアフリカ系アメリカ人の関係を論じる。

2. 研究の進捗状況

本研究（4年間）の全体計画は、①「既往の研究の概観・検証」、②「史料・資料収集や聞き取り調査および実証的考察」、③「研究成果のまとめと公表：一般社会への還元作業を含む」に分けられる。以下、現在までの進捗状況をそれぞれに記す。

① に関する作業では、日米の研究者やジ

ャーナリストなどによる関連研究・文献の探索・入手、分析を行った。テーマによれば緻密に論じられている研究もあるが、世界史や日米関係史の流れの中で、それらを位置づける必要性が見出された。

② に関しては、日米での資料調査を遂行した。人的交流の歴史の実態を明らかにするために、関係者に対するインタビューや聞き取り調査などもすすめた。また、インターネットを利用した情報収集も精力的に行うよう努めた。

③ に関わる作業としては、現在、世界最大規模のアジア研究集会になっている International Convention of Asia Scholars (ICAS) の第5回会議（マレーシアのクアラルンプールで開催）など国際学会を含めて、学会・研究会などで関連テーマの口頭発表を行った。研究途上で第三者からのコメントを得ることは、研究遂行のうえで非常に重要なものと考えられる。したがって、発表の際に得られた批評などは、本研究活動にフィードバックし、活用を試みている。また、関連論文執筆・事典項目執筆、共著執筆刊行など、研

研究成果の公表をおこなった。（「代表的な研究成果」参照。）

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

（所属大学における研究環境の面での強いサポートなどもあり、当初の予定通りの研究活動が遂行できている。研究成果に関しては、現時点では計画どおりの点数を公表できている。）

4. 今後の研究の推進方策

今後の研究の遂行に関しては、まず史料・資料収集や聞き取り調査を引き続き行う。日本国内での調査、アメリカ合衆国での調査を継続して予定している。それぞれ文献調査のみならず、人的交流の歴史的事実を明らかにするために、関係者に対するインタビューや聞き取り調査などもすすめる。さらには、前年度にひきつづき、学会や研究会等での口頭発表と、そこで得られた批評にもとづく研究内容の再検証をおこなう。

研究成果の公表については、まず所属する日米の学会の学術誌に論文を投稿・公刊する予定である。論文執筆後は、研究成果の一般社会への還元作業のひとつとして、研究テーマの内容を一般新聞・雑誌などでも公表する。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

- ① Furukawa Tetsushi (古川哲史) “‘Black Pacific’ Considered: Japanese Early Relations with African Americans,” 『真宗総合研究所紀要』(大谷大学) 25号、2008年、1-10ページ。(査読無)

- ② 古川哲史 「日本-アフリカ交渉史の諸相を考える—いくつかの研究課題と展望」、『アフリカ研究』(日本アフリカ学会) 72号、2008年、75-81ページ。(査読有)
- ③ 古川哲史 「アフリカ系アメリカ人と日本/東アジア—その関係史構築の意義と課題を考える」、『アメリカ史研究』(日本アメリカ史学会) 30号、2007年、83-93ページ。(査読有)

〔学会発表〕（計2件）

- ① Furukawa Tetsushi, “East Asia, Africa, and the African Diaspora: A Historical Perspective,” The 5th International Convention of Asia Scholars (ICAS5), Kuala Lumpur, Malaysia, 3 August 2007.
- ② 古川哲史 「日本-アフリカ交渉史の諸相を考える」(公開シンポジウムでの発表)、日本アフリカ学会・第44回学術大会、長崎ブリックホール、2007年5月26日。

〔図書〕（計3件）

- ① Carole Boyce Davies ed., *Encyclopedia of the African Diaspora*, 3 Vols. Santa Barbara & Oxford: ABC-CLIO, 2008.
* 本事典に国際編集顧問 (International Advisory Board) のひとりとして参画、協力。
- ② 岡倉登志編『エチオピアを知るための50章』、明石書店、2007年。
* 古川哲史 「第7部: 日本とエチオピア」、291-323ページ。
- ③ 松本昇他編『アフリカ系アメリカ人ハンドブック』、南雲堂フェニックス、2007年。
* 歴史関係の項目執筆。（「解放民局」「奴隷解放宣言」「ナイアガラ運動」など。）